



逝去を悼む
土肥義胤前学長の

2020年2月10日、千里金蘭大学第3代学長、土肥義胤先生が亡くなられました。ここに謹んで哀悼の意を表したいと思えます。

先生は1966年大阪大学医学部を卒業後大学院医学研究科に進まれ、細菌学・免疫学を修めて、医学博士とされました。その後はアメリカ留学時を除いて定年まで大阪大学医学部に奉職され、医学部保健学科教授、同学科長を勤め、大阪大学名誉教授の称号を受けられました。定年後は甲子園大学栄養学部長を務めて居られましたが、金蘭会学園と住友病院からの要請を受けて千里金蘭大学看護学部設立に「日本一の看護学部を造る」と、多大なる尽力を持って、2009年に創立を成し遂げられ、初代看護学部長を勤められました。看護学部は発足当初から多くの志願者を得て、高い国家試験合格率を保持して現在に至っております。2010年からは千里金蘭大学学長、金蘭会学園理事として大学の運営、発展、学園の発展に尽くされ、その功績は極めて大きいものでした。

残念なことに先生は手術を必要とする病を持っておられ、2011年7月に大阪大学病院で手術を受けておられました。ご自分の体調と学長、理事の務めを果たすことの困難を考慮され、2011年10月には翌年3月末を持って辞任することを表明されました。然し、そのころ種々の問題で混乱状態にもあったので、大学の教員は心ならずも土肥先生を説得し、この危機に再び学長を続けていただくよう強く要請し、2012年2月の学長選挙で土肥先生は学長に選ばれました。先生は、病を押して2013年9月末までと期限を区切り、学長を続けることを決心されたのです。非常に強い意志を持って看護学部を造り、大学の運営にも優れた見識を持たれていたもので、その姿は多くの教員に大きな力を与えてくださいました。その後は、病と闘いながらも、臨床医として四国の四万十地方の地域医療に尽くされました。

このような試練にも屈することなく、常に周りには笑いはあっても怒りがなく、自らの人生を淡々と歩まれた姿は、私達に大きな道筋を残されました。

千里金蘭大学学長 島崎 靖久

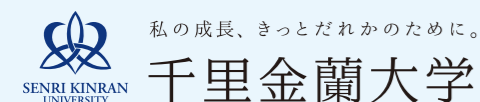
私の成長、きっとだれかのために。



年間スケジュール(前期)

2020	4月 2日(木) 令和2(2020)年度入学式	7月 12日(日) オープンキャンパス	8月 11日(火) 夏季一斉休業(8/11~8/14)
	3日(金) 新入生オリエンテーション	22日(水) 前期最終授業日	16日(日) オープンキャンパス
	4日(土) 新入生オリエンテーション	26日(日) オープンキャンパス	24日(月) 前期成績Web発表日(予定)
	6日(月) 前期授業開始	27日(月) 授業予備期間(7/27~7/31)	30日(日) 総合型選抜チャレンジAO入試I期
	29日(水・祝) 祝日授業日	8月 2日(日) オープンキャンパス	9月 9日(水) 保護者宛成績発送日(予定)
5月	2日(土) 学園創立記念日(115周年)	3日(月) 専門科目、保育、教職科目調整期間	20日(日) 総合型選抜チャレンジAO入試II期
6月	14日(日) オープンキャンパス	(8/3~8/5)	21日(月・祝) 後期授業開始 祝日授業日

※4月上旬現在の予定です。新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、スケジュールが変更となる場合があります。大学ホームページなどで適宜お知らせいたしますので予めご了承くださいませよう願いたします。



千里金蘭大学 広報室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-7854

発行/令和2(2020)年5月30日

大学web <http://www.kinran.ac.jp/>

公式Twitter <https://twitter.com/senrikinranuniv> 受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>

公式Facebook <https://www.facebook.com/SenriKinranUniv/>

受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

編集後記

新年度が始まり学生の賑やかな雰囲気にも包まれるはずのキャンパスがひっそりと静まり返っています。ひっそりとしたキャンパスが学生たちによる賑やかさを取り戻す日が1日でも早く訪れることを願います。また、卒業生の中には医療などの現場で活躍している方がいると聞きます。最前線にいる方々に感謝の気持ちが溢れます。

- 01 千里金蘭大学後援会からのご挨拶
- 02-04 学科 MESSAGE
- 05 ゼミ探訪 vol.7
- 06 学内表彰
- 07-08 部局 MESSAGE
- 09 NEWS
- 10 新任教員紹介
後援会事業のご案内
学園へのご寄付・ご支援について
- 11 学長メッセージ
年間スケジュール



千里金蘭大学 学長
島崎 靖久

新入生の皆さん、千里金蘭大学入学おめでとうございます。金蘭会学園、千里金蘭大学は皆さんの入学を歓迎し、お祝いいたしますと共に、皆さんを精一杯支援いたします。

学生の皆さん、新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日本でも患者数が急激に増え政府は緊急事態を宣言するに至りました。本学では、緊急事態も予測しながら、従来通りの授業を行う事としていましたが、出来なくなりました。そして、在宅での授業(学習)が始まりました。

初めての経験であり、皆さんも今後の教育に不安を覚えていることと思います。暫くは、出された課題を自分で調べ、知識を得て、課題に答えてください。本学の教育方針は「自ら考え、自ら学び、自ら育つ」であり、自分で実力をつけることですので、その実践となりました。原則として大学へ入る事は出来ませんので、質問は先ずはメールの交換で解決するようにしてください。どうしても、それだけでは理解が届かない場合、或は大学の施設を利用する必要がある場合には、緊急事態として大学の施設を利用する事は出来るようにしてあります。あつという間に時間だけが過ぎ去ってしまわないように、計画を立てて時間を有効に有意義な毎日となるように心がけてください。貴女方の大切なこの時期を、教職員と直接に接することなく過ごす事は、学長として心苦しい事ではありますが、一つの試練として受け止め、自分との戦いをして是を乗り切りたいと思います。そして、何か自分で解決できない問題が生じた場合は、連絡をとって問題解決のための相談をしてください。何時でも教職員は貴女方の問題の解決に努力しますので、どんな問題でも気軽に相談してください。

毎日の生活を規則正しくしてください。毎日通学しているつもりで、毎朝スタートすることです。お休みではありません。頑張ってください。特に食物栄養学科と看護学科の4年次学生諸君は、国家試験対策をしてください。国家試験の過去問にチャレンジしてください。この時期を利用しなければ、良い機会を失った事になります。来年春には悲しい結果とならないように、嬉しい結果が得られるように、頑張りましょう。児童教育学科で小学校教員を目指している皆さん、公務員を目指している皆さんも過去問を始めとして、公務員試験問題に取り組んでください。有意義な時間にしましょう。頑張れば出来ます。

新型コロナウイルス感染症患者は今後も増えるものと予想されます。密閉空間、密集、密接の3つが重ならないようにしてください。貴女方が一人として感染患者にならずに、通学出来るように、願っています。

厳しい条件に負けない強い心と頑張り、乗り切り、明るい将来になるよう努めてください。期待して止みません。

千里金蘭大学後援会からのご挨拶

新入生の皆さん、そして保護者の皆さま、千里金蘭大学へのご入学、まことにありがとうございます。また、在学生の保護者の皆さまには、日ごろより後援会活動へのご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

千里金蘭大学後援会は、保護者により組織され、学生支援を目的として、教育内容の強化、課外活動の充実、学生生活環境の整備などに向け、大学経営の財政的基盤の充実に保護者同士で支え合うことを主な役割としており、今年で設立6年目を迎えます。

私たち保護者自身がこれまでに培った知見や情報、さまざまなりソースを通じて、ますます事業の充実を図りたいと考えております。

今年度も、全保護者のご入会をいただくことができ、感謝申し上げます。

今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、縮小しての開催となったため、お会いすることが叶いませんでしたが、役員一同、新入生の皆さんの入学を心より歓迎し、保護者の皆さまと共によりよい千里金蘭大学を目指して一層努力して参る所存です。

これからも、ご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

千里金蘭大学 後援会会長
水谷 秀子

<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

本学ホームページに後援会ページを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

食物栄養学科

学科長メッセージ

新カリキュラムの開始、 新しい学科教育の始まり。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さんも更なる飛躍を胸に新年度を迎えていることと思います。保護者の皆さまにおかれましては、日頃よりご支援いただき感謝いたします。

食物栄養学科では、幅広い教養を身に付け、異なる意見に耳を傾けることのできる、懐の深い立派な人間を育成すると同時に、リーダーシップや企画力、業務推進力などを育み、組織を牽引し、発展させていく能力を養う、という教育ビジョンの基に新年度から新カリキュラムを開始します。従来の1・4年生の少人数ゼミに加えて、2・3年生にもゼミを導入します。答えのない課題に取り組むプロジェクト型学習で、グループワークを駆使し、アクティブラーニングによる自発的な学習を奨励します。3年生が2年生に指導するチュートリアル形式が理想です。

ビジョンを共有し、多くの学生が日々成長を実感する大学生活を送ることを期待します。

食物栄養学科長 石川 秀明

学生の活動実績

吹田市
「みんなの健康展」に参加



2019年9月7日(土)8日(日)に大和大学で開催された「第36回みんなの健康展」に参加しました。歯の健康や薬、栄養・看護関係・介護関係の展示やイベント広場などの催しの一環として開催されるもので、「あなたのお腹は大丈夫?」というテーマでブース出展。ブースでは、クイズのほかにレシピやチェックシート、大学オリジナルのエコバックや缶バッチも配付しました。

吹田市認知症
カフェ交流会・料理教室の
開催・参加



2020年1月25日(土)に市民の皆さま、吹田市認知症カフェ交流会、津雲台・藤白台地域包括センターと本学生生活科学部食物栄養学科の教員・学生による「吹田くわい×認知症予防料理教室」を開催しました。参加した学生は、フォローアップ研修と認知症当事者との調理実習を通して、サポーターとしての活動や理解を深めました。

米粉パン
「すいぱん」の開発・商品化



2020年4月7日(火)から、吹田市のイメージキャラクター「すいたん」の形をしたパンの販売が始まりました。千里金蘭大学食物栄養学科・吹田市障がい者の働く場事業団の三者が産官学連携のもと作成し、販売するものです。武智多与理教授と学生が、パンの開発に協力しました。販売場所など、詳しくはホームページをご覧ください。

学科の願い

【キラリ★サポーター】



キラリ★サポーター

「食」を通じて人を笑顔にし、社会に貢献したい。

家族や親しい人達との楽しい食卓、病気の時に元気を与えてくれる食事、子どもの成長を考えた給食など。「おいしい」の笑顔の裏には、「食」に対する繊細な心づかいと、確かな知識と技術があることはあまり知られていないのではないのでしょうか。生活習慣病の増加、超高齢社会など、健康に対するさまざまな課題を抱える日本では、食事指導や栄養教育、食育などの「正しい食と栄養の知識」をもった、みんなによりそう管理栄養士の役割が一層重要となっています。千里金蘭大学食物栄養学科では、「食」を通じて人を笑顔にしたい、社会に貢献したいと願う管理栄養士、「キラリ★サポーター」を育てます。

児童教育学科

学科長メッセージ

困難なときに発揮できる力を鍛えよう。

新入生の皆さん、保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんも気持ちを新たに、新学期を迎えていることと思います。今は普通の生活ができることの大切さが身に沁みますが、冷静に、皆で協力して、この事態を乗り越えていきましょう。

本学科では、地域の子どもたちや学外の方々と交流する体験の機会が多くあります。学内のプレイルームで実施の「金蘭おやこクラブ」や「子育てひろばOh!キッズ」での子どもの関わりを始め、多岐にわたります。昨年は、茨木特別支援学校とのコラボで音楽発表会も開催。今年度からは子ども音楽療育士資格課程も開始します。現在ストップしている活動も、落ち着いた状況になれば、また、再開することができますのでそのときを待っててください。

大学では、分からないことを調査研究し、まとめる力も養います。困難なときに、その力を発揮し、真実を見極め、的確な判断ができるように自らを鍛えてほしいと思います。

児童教育学科長 早田 由美子

学生の活動実績

金蘭会保育園での交流 01



保育者・教育者養成では現場での実習が欠かせません。保・幼・小、乳児院、児童養護施設での実習と障がい者施設や高齢者施設等での介護等体験に加え、本学独自の子どもインターンシップも行い、実践力形成を支援しています。金蘭会保育園ではのべ20日間の保育実習でお世話になりました。実習に加え、ゼミ、演習でも連携・交流させていただきました。

こどものひろば 02



毎年「百花繚蘭祭」で、地域の親子対象に遊びの場を提供しています。2019年度は、1年生はパネルシアターや手遊びで出迎え、プレイルームが満員になる盛況ぶりでした。2年生によるゲームや手作りおもちゃの制作では親子の笑い声がはじけ、オレンジリボン運動(子ども虐待防止運動)の取り組みでは、キャンドルで家族の平和への願いや祈りが灯されました。

卒業研究発表会 03



4年間の集大成として4年生全員が卒業研究を行います。日頃の関心を深めて、テーマを設定し、先行研究の読み込み、調査研究、執筆と進み14000字の論文を完成させます。卒業研究発表会では、テーマ領域ごとに分かれて成果をパワーポイントで発表します。皆さん、緊張しますがきりりとした様子で、子どもや保育・教育に関する興味深い発表を行いました。

学科の願い

【きらり★先生】



きらり★先生

子ども一人ひとりと向き合い、子どもの可能性を引きだします。

子ども支援のスペシャリスト育成を目指す千里金蘭大学児童教育学科では、早期からの現場体験を重視、「金蘭おやこクラブ」や「子どもインターンシップ」など、親子とふれあえるカリキュラムが充実しています。高いスキルを持った先生になることに留まらず、子ども一人ひとりと向き合い、理解し、可能性を引き出す。子どもたちのきらりと光る瞬間を支える「きらり★先生」を育てます。

看護学科

学科長メッセージ

人に寄り添い、人として女性として人に社会に求められる人材育成を目指して。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまには心からお祝い申し上げます。今年は新型コロナウイルス対策で保護者の皆さまには入学式にご列席することができず、普段とは違う形式での入学式となり、お心残りの新入生や保護者の皆さまも多くいらっしゃるかと推察いたします。新入生の皆さんにとって、これからの4年間の生活が、しっかりと学習し、仲間と出会い、社会に貢献できる人材に育ってほしいよう、充実したものといたしますことを願っております。

看護学科では、「ココロかんご」をテーマに、人に寄り添い、人として女性として人に社会に求められる人材育成を目指し、さまざまな取り組みをしています。看護学科では、学生の皆さんがご自身の目指す看護職となるための学習をしっかりとしていけるよう支援してまいります。

看護学科長 藤田 俱子

学生の活動実績

住友病院の夏祭りコンサートに参加 01



2019年7月11日(木)に開催された住友病院院内での夏祭りコンサートに参加しました。この夏祭りコンサートは、住友病院内で患者さまご家族の方を対象として開催され、看護学科の学生をはじめ、食物栄養学科と児童教育学科の学生も参加し、合唱を3曲披露しました。患者さまご家族の皆さまが歌に合わせて手拍子をしてくださる姿が見られました。また、2019年12月17日(火)に開催されたクリスマスコンサートにも参加し合唱を披露しました。

保健師教育課程の学生活動 02



2019年9月7日(土)に吹田市主催の第36回みんなの健康展に、保健師教育課程の3年生の学生15名が参加しました。メインステージにて、市民の皆さまを対象に、認知症予防、糖尿病予防、子育て中の母親支援の3つのテーマについて、健康教育を実践させていただきました。参加者は各回に30~50名で、関心をもって一生懸命聴いてくださいました。

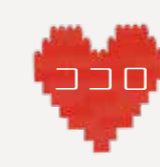
助産師教育課程の学生活動 03



2019年7月19日(金)にIBCLC(国際認定ラクテーション・コンサルタント)の先生による臨床助産学セミナー「母乳育児支援の理論と実際について」に、助産師教育課程の4年生の学生6名が参加しました。母親が自信をもって、子育てができるように支援するポイントを多く教えていただきました。演習では外部施設から参加していただいた現役助産師の方の援助技術を見せていただく機会となり、学生にとって充実した研修になりました。

学科の願い

【ココロかんご】



人として、女性としてココロを感じられるように。

プロの看護師に求められるものは、知識や技術ではありません。何よりもまず、どんな患者さまのココロにも寄り添えること。私たちは、その力を「ココロかんご」と名付けました。千里金蘭大学看護学部では、4年間を通して「ココロかんご」のできる人を育てます。資格のためだけでなく、看護師である前に、人として、女性として、ココロを感じられるように。「あなたがいないと困るから。」と言われる女性を育てることが私たちの願いです。

ゼミ探訪 vol. 7

看護学科
在宅看護学ゼミ



藤田 倶子 教授

在宅看護について仲間と共に考える。

在宅看護ゼミについてご紹介します。在宅看護は、ご自宅などで暮らす療養者の方を対象にしたケアを考える領域です。療養者の方は慢性疾患をもって服薬管理などが必要な方や、人工呼吸器などの医療的なケアが必要な方、看取りを希望される方などさまざまです。質の高いケアを実践するというを考えるために、さまざまなテーマに学生は取り組みます。新年度早々、10月には研究計画書が提出できるようにスケジュールを組み、文献検索、文献の読み込み、クリティークと、講義形式の授業とは違う、学生自身がすべての作業に責任を負う活動を行います。夏には中間発表会、秋には最終発表会を行い、看護学科全体の発表会で発表者となる領域の代表者も学生の投票で決めてもらうようにしています。2019年度は、在宅療養者当事者である方のご協力を得て、最終発表会においていただき、在宅療養者の視点からご助言をいただきました。また、発表会の後には座談会を行い、普段の生活について学生は興味深くお話を伺いました。協力してくださった鈴木さんは、学生の看護者としての成長を期待し、励ましてくださり、学生はとても良い刺激をいただいたようです。

在宅看護学領域では、ゼミ生に「茶話会係」を決めてもらい、発表会の後などにみんなで打ち上げに行っています。研究は苦しいこともあります、仲間とざっばらんに今考えていること、困っていること、探求したいことなどを話し合う中で、ヒントを得ることが沢山あります。こうした打ち上げを行ってほっと一息、みんなとおいしいご飯(とお酒?)をいただきながら何でも話せる仲間を作ってもらいたいという願いも込めて、茶話会係を命じています。



ゼミ発表会



ゼミ発表会後座談会



ゼミ打ち上げ

ゼミ生メッセージ

私の祖父は半身麻痺で寝たきり生活ですが、家族や訪問看護師・介護士の手厚い援助を受けて生活しています。しかし、世の中には十分な援助を受けられない方もいらっしゃると思い、在宅看護が大切だと考えるようになりました。ゼミでは、周りからの援助を受けられない方が訪問看護師に求めることについて探求したいと考えています。今後、私たちが働く際に在宅を見据えた看護を提供できるよう教員・ゼミ生と意見交換を通して在宅看護について知識を深めたいです。

4年生 由賀 愛佳 さん

私が在宅看護学に興味を持った理由は、実習です。在宅実習では訪問看護師の方に同行させていただき、利用者さんが他職種の支援を受け生活されている実態や、そのご家族の方々の思いや大変さなどを知る事ができました。今の日本は65歳以上の高齢者の約7人に1人が認知症という現状があります。在宅ゼミでは自宅療養されている認知症の方のご家族の支援に着目し、家族支援が十分であるのかを探究していきたいと思っています。

4年生 竹中 千夏 さん

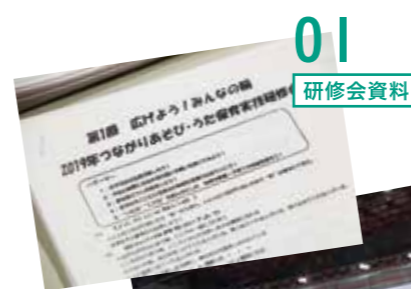


▲つながりあそび・うたのまっちゃんとみゆきさんと一緒に

学内表彰

広げよう!みんなの輪。

「広げよう!みんなの輪」は、2018年6月に片岡先生が関わる保育実技研修会に参加した児童教育学科の学生10名が、保育者との関わりを通して「もっと学生と保育者とのつながりを広げたい!」という思いで立ち上げました。そして、片岡先生のサポートを得て、2019年5月には「第1回広げよう!みんなの輪~2019年つながりあそび・うた保育実技研修会~」を開催しました。今年度は2年生6名が新たに加わり、16名のメンバーで研修の計画を進めています。この取り組みに対しては、優れた功労、功績を収めたと認められ、千里金蘭大学後援会より特別賞が授与されました。



01

研修会資料



02

研修会の様子



03

ダンスの見本



04

最後にみんなで歌を歌いました



05

研修会参加者へのお礼と挨拶



07

研修会大成功!



08

研修会の打ち上げ!



06

研修会後のおやつジャンケン!



教養教育センター

社会貢献論

教養教育センター長
岩谷 智

学生と社会人にはどのような違いがあるでしょうか。主体性や責任など、いろいろありそうです。しかし社会貢献という点でいえば、学生にもできる、あるいは学生にしかできないことがあります。本学のタグラインは「私の成長、きっとだれかのために。」です。写真は「社会貢献論」で実施される「DV啓発研修」の一コマですが、この研修を経て中高生対象のDV予防ワークショップのスタッフになることも可能です。一つひとつの授業が自分のためのものであると同時に、まだ見ぬだれかのためのものでもあると思いながら学んでいただければと思います。



「DV啓発研修」の授業の様子

付属図書館

他分野の専門誌を手にとってみよう！

付属図書館長
登喜 和江

図書館カウンター横には、食物栄養学科11誌、児童教育学科19誌、看護学科26誌、教養関連23誌の専門雑誌があります。専門雑誌は、インターネット検索と異なり、出版社が確からしさの質を保証した最新の情報を得ることが出来ます。自らの専門分野の雑誌は、手にすることが多いと思いますが、他分野はどうでしょうか。食栄と児童と看護はそれぞれ人々の健康と教育に関する類似の学問分野でもあります。同じテーマでも分野によって切り口が異なり「こうなるのか!」といった新たな発見があります。お手軽に、そして確かな情報に触れてみませんか？



専門雑誌コーナー

地域共創センター

釜山女子大学との交流

地域共創センター長
岩谷 智

私たちのセンターは大学の内外を結ぶ窓口です。地域連携や社会人教育などが主な活動内容ですが、国際交流も役割のひとつです。毎年1月から2月にかけて、提携校の韓国・釜山女子大学から日本語と日本文化を学ぶために多くの学生が来てくれます。日本語と韓国語をたがいに教えあうなかで日韓の学生が自然な交流をしている姿を見ていると、大学は開かれた存在であるべきだといまさらながらに思います。今年度も受け入れの予定です。皆さん、ぜひ彼女たちのサポート活動に加わってください。そして3月には再会のために韓国に行きましょう!



2020年1月大阪市内研修記念写真

情報処理教育センター

ユニバーサルパスポートの取り組みについて

情報処理教育センター長
小野 淳

大学のキャンパスを離れ遠隔での授業が始まっています。授業により様々な取り組みがされていますが、多くの授業では大学の教務システム「ユニバーサルパスポート」を使った教材提示や課題提出が行われています。ユニバーサルパスポートはスマートフォンでも利用ができますので、ご自宅にパソコンがない場合にはスマートフォンよりご利用ください。新入生の皆さんは教務システムには不慣れだと思いますので、ご不明な点があれば情報処理教育センターまでご連絡いただければと思います。



ポータルサイト

教職支援センター

新しい時代を拓き、活躍する教員の育成

教職支援センター長
黒瀬 哲也

新学習指導要領が実施となり、特別の教科道徳に続き、高学年では英語が教科になるなど小学校は変革の年を迎えています。教員採用試験でも英語資格への加点や在学中のボランティア経験の重視などが明確に出されています。この様な背景のもと教職支援センターでは、新しい時代を拓き、活躍する教員を育成するために、教養教育センターや子ども地域ボランティアなどの教科、さまざまな施設と連携して、英語資格取得を応援する講座の開設や豊かなボランティア体験を得る機会の充実を図ります。今年度も新たな取り組みを加え、学生たちが自信をもって教員採用試験に挑めるよう努めて参ります。



2020年1月小学校マラソン大会でのボランティア

アドミッションセンター

本学の入学者選抜方法が大きく変わります

国が進めている「大学入試改革」の方針に従い、本学の入試も今年度より大きく変わります。これまでの入試よりも「学力の3要素」をより重視した選抜方法を取り入れることが求められており、それに則した形での選抜方法を行うこととなりました。また、2019年度まで実施していた「大学入試センター試験」も、今年度より「大学入学共通テスト」となり、知識よりも思考力などが問われる形式に変わります。定員充足に向け、新たな入学者選抜方法をアピールすべく、今年度も様々なイベント等を実施していきますので、皆さま方にもご理解・ご協力のほどお願いいたします。



オープンキャンパス告知イメージ

カウンセリングルーム

より静かな相談しやすい場所へ移動しました

2020年4月から、カウンセリングルームは、3号館9階へ移りました。新しい場所は、静かな落ち着いたフロアにある部屋で、ソファに座って、これまで以上にゆっくりゆったりと話ができるのではないかと思います。カウンセリングは無料で受けることができます。相談内容は、人間関係や自分の性格のこと、心身の不調、性の悩み、学生生活のこと、就職や将来のこと・・・、どんなことでもOKです。「こんなこと、相談してもいいのかなあ」と思うことでも、まずは気軽にカウンセリングルームにお越しいただければと思います。抱えている悩みや困りごと折り合いをつけて、少しでも気持ちを楽にして毎日を過ごせるよう、サポートしていきます。相談内容に関する秘密は守ります。

千里金蘭大学カウンセリングルーム

場所 3号館(本館) 9階 東側
開室日時 火曜日・水曜日 10:00～15:00
Tel (06)6872-7209

直接カウンセリングルームに来ていただくか、健康管理室で予約をしてください。

キャリアセンター

女子大学では関西一の実就職率

新型コロナウイルスは就職活動にも大きな影響を及ぼしております。ただ、2020年3月卒業生の就職率については、食物栄養学科98.6%、児童教育学科97.7%、看護学科100%と全国平均よりも高い水準となりました。在学生の皆さんは、先が見えない中での就職活動となり、不安も大きいと思います。キャリアセンターでは、学生の皆さんが志望する企業・園・病院に就職できるよう最大限の支援体制を整えてまいります。そのためにも、就職に関してわからないことがあれば、いつでもキャリアセンターへお越しください。



第2回就職ガイダンスの様子

NEWS

令和元(2019)年度学位授与式報告

3月16日(月)に、佐藤記念講堂において令和元(2019)年度学位授与式が執り行われました。始めに、食物栄養学科76名、児童教育学科45名、看護学科94名、計217名の卒業生を代表して各学科の総代が登壇し、島崎学長から学位記が授与されました。続いて、4年間を通じて最も成績が優秀であった学生に与えられる「商議員賞」、学業を含めスポーツや社会貢献に優れた活動に取り組んだ学生に対して与えられる「佐藤賞」、並びに関係団体各賞・記念品の授与が以下のとおり行われました。

学科	食物栄養学科	児童教育学科	看護学科
総代・商議員賞	加留部 真紀さん	安田 みづきさん	中尾 郁絵さん
佐藤賞	平田 美晴さん	坂上 依咲さん	宮原 李佳さん
関係団体各賞授与	田中 沙宝さん (全国栄養士養成施設協会)	川本 明日香さん (全国保育士養成協議会会長賞)	小林 実樹さん (日本私立看護系大学協会)
	齊藤 美玖さん (日本フードスペシャリスト協会)		野田 凧海さん (大阪府看護協会会長賞)
門出の誓い	齊藤 優さん	吉田 ひかりさん	井上 芽莉さん

島崎学長からの式辞に続いて、門出の誓いとして、各学科の代表から、4年間学生生活を支えていただいた方々への感謝の気持ちと今後の抱負が述べられました。急きょ、規模を縮小しての開催となった学位授与式でしたが、保護者の皆さま及び卒業生の皆様のご協力により、無事終了することができました。

卒業生の皆さん、この度はご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を、本学教職員一同祈念いたしております。



令和2(2020)年度入学式報告

令和2(2020)年度入学式が4月2日(木)に佐藤記念講堂で執り行われました。食物栄養学科63名、児童教育学科63名、看護学科96名、計222名の新入生(編入学生を含む)が、千里金蘭大学学生としての第一歩を踏み出しました。厳粛な雰囲気の中で式が挙行され、食物栄養学科・井上満月さん、児童教育学科・角田菜々望さん、看護学科・藤本優花さんによる新入生代表宣誓が行われました。続いて学長入学許可宣言、学長式辞があり、新入生たちは改めて気持ちを引き締めている様子でした。今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、保護者の方々及び関係者の方々のご臨席を見合わせていただき、縮小しての開催となりましたが、当日は天候に恵まれ、桜も満開を迎える中、キャンパス内では新入生の晴れやかな笑顔であふれました。千里金蘭大学に入学されました新入生の皆さん、ご家族の皆さま、おめでとうございます。



新人教員紹介

- ① 学位 ② 研究テーマ(専門分野) ③ 千里金蘭大学での主な担当科目 ④ 千里金蘭大学での抱負

食物栄養学科



鎌田 洋一 教授
①博士(農学)②食品衛生学 ③食品衛生学 ④自ら感じ、考え、行動し、自己を高め、社会の役に立てるよう、共に頑張りましょう。

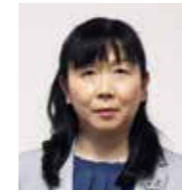


中村 清美 准教授
①修士(保健学)②地域保健、食環境づくり ③公衆栄養学 ④これまでの行政経験を活かして学生の修学に精励したいと思います。



永井 潤 講師
①学士(文学)②学校経営論 ③生徒指導 ④専門的な知識や技術だけでなく、社会とつながる心と力を身につけるよう一緒に学んでいきましょう。

看護学科



土井 有羽子 教授
①博士(看護学)②地域における生活支援 ③公衆衛生看護学概論 ④28年半の行政保健師経験を活かし保健師の魅力を教授します。



中島 敦子 教授
①博士(保健看護学)②学校看護、保健教育 ③学校保健 ④子供の良き支援者としての力がつよう一緒に考えましょう。



石井 敦子 講師
①博士(政策科学)②保健医療分野の政策研究 ③公衆衛生看護活動論 ④人や社会の健康について一緒に考えていきましょう。



浅井 美穂 助教
①修士(保健学)②関病体験の現象学的記述的探索 ③基礎看護学技術演習 ④看護とは何か?という大きなテーマを学生とともに探求していきたいです。



谷地 季子 助教
①修士(看護学)②医療安全 ③基礎看護学技術演習 ④自ら学び考える姿勢を大切に、学生と一緒に頑張りたくです。



樋口 早映子 助教
①修士(看護学)②老年看護学 ③老年看護援助論演習 ④演習や実習を通して、学生と共に学んでいきたいです。



丸山 加寿子 助教
①修士(看護学)②在宅看護学 ③在宅ケア演習 ④病いや障害のある人に寄り添う看護を一緒に考え、学んでいきましょう。



阪田 健行 助手
①学士(看護学)②精神看護学 ③精神看護援助論演習 ④一緒に学び、共に成長していきましょう。

後援会事業のご案内

千里金蘭大学後援会は、学生へのより良い教育の提供と学生生活環境の整備を行いたいという保護者の皆さまからの声をもとに、保護者の皆さまと本学が相互一体となり、学生の修学及び課外活動助成並びに教育施設及び福利厚生施設の充実を図るべく、平成27(2015)年4月1日に発足されました。保護者の皆さまには、ご入会を賜りましたことを厚くお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇後援会の主な事業内容につきましては、ホームページをご覧ください。なお、令和2(2020)年度の事業内容は、年1回開催される総会において決定いたします。
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

学園へのご寄付・ご支援について

昨年度(2019)年は、本学園が設置する千里金蘭大学、金蘭会高等学校・中学校及び金蘭会保育園の将来を見据えた教育・研究活動の充実、保育活動の充実、課外活動の推進を図ることを目的として、寄付募集を行ってまいりました。前年度と同様に用途区分を設け、より個人の寄付のご意思が反映されるようにいたしました結果、多くの皆さまからご賛同、ご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。ご寄付を賜りました皆様のご芳名、寄付の件数及び総額に関しては、学園ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

今年度(2020)年は、創立115周年を迎えるにあたり、学園が更なる充実・発展を遂げるために、より精力的に寄付募集活動を行う所存です。寄付の対象を法人・企業等にも拡大し、また昨年度の募集内容に加えて、遺贈等の新たな制度の具体化も予定しております。詳細につきましては、学園ホームページ等を通じて改めてご周知させていただきます。昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じますが、引き続き、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

金蘭会学園 法人事務局 総務部 TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707
本学園ホームページご寄付のお願いURL
<https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/>

<https://www.kinran.ac.jp/hojin/contribution/pdf/donors.pdf>